

## スマート農業技術で農作業の負担軽減

古賀市の小野地区では、スマート農業技術を活用した農作業の効率化・省力化に取り組んでいます。実証2年目となる今年度は、農業センサー、リモコン草刈機、営農記録アプリを用いた実証実験を行います。

### ■目的

小野地区は、古賀市の東部に位置する自然豊かな地域ですが、農業者の高齢化や次代の担い手不足といった問題を抱えています。

そこで、スマートアグリビレッジおの推進協議会(事務局:古賀市役所農林振興課)では、農林水産省の中山間地農業ルネッサンス推進事業(元気な地域創出モデル支援)を活用し、NTTコミュニケーションズ株式会社の協力を受け、小野地区においてスマート農業の推進やデジタル技術を活用した生活支援に取り組んでいます。

今年度は、農業関連の取組の一環として農業センサー、リモコン草刈機、営農記録アプリ、農作散布用ドローンなどを用いた実証、生活支援の取組としてスマートグラス等を用いた買い物支援実証を行う予定です。

今回は、農業センサー、リモコン草刈機のシェアリング、営農記録アプリの実証をご紹介します。

### ■農業センサー(水田用、気象用)

水田用と気象用の2機種を使用し、栽培に必要なデータをスマートフォン等で遠隔地に居ながら確認を行い、農場へ足を運ぶ頻度や作業時間の短縮等の効果があるか実証を行います。実証圃場は農事組合法人ファームおの耕作の水田3箇所と畑1箇所。

### ○水田用 MIHARASU (ミハラス)

実施時期:令和6年6月~9月



○気象用 MIHARASU (ミハラス)

実施時期：令和6年6月～令和7年3月



■リモコン草刈機

リモコン草刈機「神刈」をシェアリングで運用し、草刈作業の省力化につながるか、シェアリングでの運用が可能かについて実証を行います。草刈機の管理、貸し出しは農事組合法人アグリたにやまに委託し運用します。

○神刈

実施時期：令和6年7月～9月



## ■ 営農記録アプリ

営農支援アプリ「agri-note」(アグリノート)を活用した、営農記録のデジタル化に取り組み、記録作成の簡素化、情報共有の効率化を図る実証を行います。

### ○ agri-note



## ■ 主催 スマートアグリビレッジおの推進協議会

小野地区でスマート農業技術の普及とデジタル活用による生活支援を目的に、小野地区の農業者や九州産業大学の研究者、市社会福祉協議会などを構成員とする任意団体として、令和5年3月に設立

今年度は、NTT コミュニケーションズ株式会社に実証業務を委託し、リモコン式自走式草刈機や農業センサーなどスマート農業の実証業務や遠隔地からの買い物支援を実施。

### 【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：高原

電話：092-942-1120

メール：nousei@city.koga.fukuoka.jp